

「質問することの練習」はできましたか？

本日で、令和5年度のくまなびスクールが終了します。

本校では、年間を通じて、予定通りの28回のスクールを開催することができました。出席簿をみると、ほぼ毎回出席できた人もいますね。よく頑張りました。

くまなびスクールでは、生徒の皆さんの「自学自習」が基本です。問題集などを各自持参し、自分のペースで学習に取り組みます。年度当初の開校式では、自学自習だからこそ、質問をたくさんする機会があるとして、次のお話をしました。「わからないこと、疑問に思うこと、気になること等があれば、講師の先生に質問すればいいのです。簡単に『質問すればいいのです』なんていいましたが、これが難しいんです。まずは、自分のわからないことが何なのかをわかっていないと質問できません。自分のわからないことを明らかにすることが勉強の第一歩だと思っています。一步が踏み出せば、勉強はどんどん先に進んでいきます。これだけすごいいいことなのです。ですから、自分がわからないことを恥ずかしがる必要なんて全くありません。堂々と講師の先生に質問すればいいのです。」

さて、1年間のスクールを振り返り、質問するということ、言い換えれば、「学習を進めたり深めたりすることの第1歩を踏み出すこと」ができたでしょうか。講師の先生も、生徒の皆さんからの質問を大切にしていると伺いました。2年生の理科で「地震」の問題について質問があったときも、理科の先生のお力も借りながら、生徒と講師の先生が一緒に考え、問題の答えにたどり着いたといいます。すばらしいです。これぞ学習です。この他、スクールを通じてたくさんのお話を学んだことと思います。瀬尾さんと吉田さんから感想発表をしてもらいます。1、2年生については来年度も継続していけるといいですね。

講師として、小久保先生、小林先生、日野先生、新野先生の計4名の皆さま方に御指導いただきました。生徒の学習に寄り添っていただきありがとうございました。改めて、感謝を申し上げ、閉校式の校長あいさつとします。